

■開館時間
10時～18時。金曜は瀬高館のみ20時まで

■3月の休館日
4日(月)、11日(月)、18日(月)、25日(月)、28日(木)

▶利用カードの登録内容に変更はありますか

住所や電話番号などに変更があった際は、図書館で手続きをお願いします。



▶電子図書館でより便利な読書ライフを!

「いつでも、どこでも、24時間365日利用可能」で、「自動返却で返し忘れがない」電子図書館を利用しませんか。インターネットを利用して、電子書籍を借りることができます。

詳しくは、みやま市立図書館ホームページをご覧ください。



3月のイベント

瀬高館 オンリーワン 楽しい焼き物づくり (ひもづくり体験) (23日(土)14時～16時30分)

器1個と箸置きにもなるムツゴロウを2個作ります。器は、土をひも状にして積み上げて形を創っていく「ひもづくり」という手法で作ります。

- ▶参加費 500円 ▶定員 先着12人
- ▶対象 小学4年生以上で、市内在住または通勤、通学している人
- ▶申し込み期限 3月17日(日)
- ▶申し込み方法 瀬高館に来館または電話

▶おはなし会 瀬 2、9、16、23、30日。14時～14時30分

山 16日。11時～11時30分

高 2日。11時～11時40分

▶赤ちゃんおはなし会 瀬 2日。11時～11時15分

▶図書館ピアノ 瀬 10、24日。11時30分～11時50分

▶おりがみ相談室 山 9日。14時～15時



新着図書 と 特設コーナー

New
瀬高館 絵本
きみにおやすみをいうまえに
ジョルジョ・ヴォルペ/文、パオロ・プロイエッティ/絵、ほりぐちみのり/訳(工学図書)

秋から冬へと季節が変わり始めると、キツネのロッソは寂しくなってしまうのです。一番の仲良しの友だち、ヤマネのクイックがもうじきお家のなかにこもってしまうから…。おやすみ前のひとときに、そっと読みたくなる絵本。

特設コーナー
一般「いつまでも元気に!」、
児童「たいせつなともだち」

New
山川館 一般
17歳のピオトープ
清水 晴木/著(幻冬舎)

いつも飄々として、謎めいた雰囲気を出している校務員・平人生。「人生先生」と呼ばれる彼のもとには、日々、悩みを抱えた高校生が訪れる。彼らは次第に、人生先生が始めた中庭のピオトープ作りに参加するようになり…。

一般「新生活の準備をしよう」、
児童「はるきたよ」

New
高田館 児童
ハブハブハー
立川 治樹/作、木村 いこ/絵(文研出版)

ドクヘビのハーはみんなからこわがられていて、いつもひとりぼっち。「どうしてぼくにはドクがあるの?ドクなんて大きらいだ」と思っていた。ある日、偶然にもドクが出なくなったハーは、みんなのところへ遊びに行くが…。

一般「もしも」に備えて、
児童「はじめのいっぽ。チャレンジしてみよう!」

※TRC週刊新刊全点案内より
※所蔵していない本は、リクエストでできるだけお応えしていきます。

■問い合わせ

みやま市立図書館
瀬高館 Tel.64-1117

山川市民センター図書館
山川館 Tel.67-0401

まいピア高田図書館
高田館 Tel.22-6655



ICT(情報通信技術)活用で 変わる学校の学び



まなびの教室

図教育委員会 指導室
(Tel.32-9021)

市では、小学校と中学校のあわせて9か年間で身に付ける「ICT活用スキル」と「情報モラル」の育成計画を作成し、職員の研修も行いながらICT教育の推進を図っています。「一人一台端末」が導入されて3年。着実に学校現場にICTの活用が浸透してきています。

■小・中9か年間の育成計画を作成

- ・育成計画表を活用し、市全体でICT活用スキルや情報モラルを育成

■ICT教育推進のための職員研修

- ・効果的にICTを活用した授業の研修
- ・休校時に備えた遠隔授業の研修など



■一人ひとりに最適な学びを実現

- ・習熟度に応じて課題を選べる
- ・書くことが苦手な子のノート代わりとして活用できる
- ・考えを見える化するツールで考えを整理
- ・一人ひとりの興味関心に応じて調べ学習ができる

■タブレットや大型モニターを活用して学びを共有

- ・みんなの考えをリアルタイムで共有できる
- ・画面上で活発な意見交換ができる
- ・考えを付け加えたり修正したりできる

■教師と子どものコミュニケーション

- ・子どもの学習状況や反応を把握できる

～みやま市に貢献し、みやま市を盛り上げる山門高校～ 地域に頼りにされる高校に!! やま盛

山門高校 ホームページ

地域と繋がり、ともに成長していきます。

今後、みやま市唯一の高校として、地域と繋がり、ともに成長していきます。

■市内中学校との生徒会交流会

市内の中学校生徒会と山門高校生徒会で生徒会活動について意見交換を行いました。山門生から中学生へ積極的にアドバイスをする姿が見られ、まとめの発表では各中学校の「こんな学校、生徒会にしたい」という熱い思いを聞くことができました。

▲活発な意見交換

地域との関わりの中で、地域を支える“人財”を育てる

■1年生がしめ縄作りに挑戦!

他者との共生や公共への奉仕を学ぶ活動として、水引を使ったしめ縄作りをしました。市社会福祉協議会の福祉活動支援事業の一環で実施したもので、講師に小野真代美さん(高田町)を招き、水引の歴史や先人の知恵、作品作りについて指導いただきました。

作ったしめ縄は「平和で豊かな新年を」とメッセージを添えて、福祉施設「菜の花」(瀬高町)に届けました。入所者の皆さんに喜ばれ、温かいふれあいを通して、伝統文化のすばらしさや他者とのつながりを一層感じることができました。

▲しめ縄作り

▲菜の花へ贈呈